



「小町ふれあいフェスタ」に思う時の流れ

今回のふるさと小野町会「ふるさと訪問ツアー」による訪問は、私にとって初めての体験だった。

会員を乗せたバスは磐越道をひた走り、右に矢大臣山、正面に日影山と、いつもの風景であるが、われわれを迎えている気がした。車中も急ににぎやかになり、懐かしいふるさとの言葉で話をする人、まさに「ふるさとよきかな」である。

気持ちも高ぶりながら、一路ふるさとの地で開催されている「小町ふれあいフェスタ」イベント会場へ着く。活気あふれる模擬店売場、そして体育館内での作品展はどれも一流品であり、計り知れない努力の結集がうかがわれる。特に今年3月11日の大震災と原発事故の影響から町民の方々も精神的ダメージは大きかったろうし、何をするにもどん底からのスタートだったに違いない。

しかし復興に向かっていくわがふるさと小野町は元気だった。反面、原発事故から避難生活を送っている方々で4人に1人は地元に戻れない、戻らないというニュースを耳にすると胸が痛む。小野町の元気を少しでも、間接的にも伝えることができれば、福島県のイメージアップ

につながるだろう。

また、かつては主力産業だったタバコ耕作は近年激減方向であり、さらに今回の問題で休作となったことは、少年時代からその匂いと共に育ったわれわれには寂しい気持ちである。なぜなら農家にとって子どもたちは大きな労力であったし、夏のタバコ挟みは夜割り(夕食後、夜の割り当て作業とでも言おうか)まで体験してきたから忘れることはできない。タバコ耕作が休作でなかったら、小町ふれあいフェスタ会場に優秀な耕作者の「葉タバコ」が展示されていたと思う。最後に、町民の皆さんのあたたかいおもてなしにわれわれ会員も感謝しつつ、これからもよりよい交流を深め継続してゆきたい。



会田 和夫
(吉野辺出身/千葉支部)

日本経済の「いま」を教えてください。



地域の未来づくりにも役立ってます。

平成24年

平成24年
2月1日
(水)

経済センサス 活動調査

経済センサス-活動調査は、暮らしや地域などをより良くするために、あなたのお店、あなたの会社についてお伺いする大切な調査です。正確な統計をつくるために、調査への回答をよろしくお願いいたします。

「経済の国勢調査」です。全国すべての企業・すべての事業所が対象です。

調査票は平成24年1月末日までにお届けします。2月1日以降に提出をお願いします。

- この調査は、統計法に基づく基幹統計調査で、調査票に記入して提出する義務があります。
- 提出された内容は統計作成の目的以外(税の資料など)には、絶対に使用しません。

総務省・経済産業省・都道府県・市区町村
<http://www.stat.go.jp/data/e-census/campaign/index.htm>

経済センサス

検索

